

双葉駅東地区商業施設（イオン双葉店）が完成しました。



北西面外観



北東面鳥瞰



店舗入口

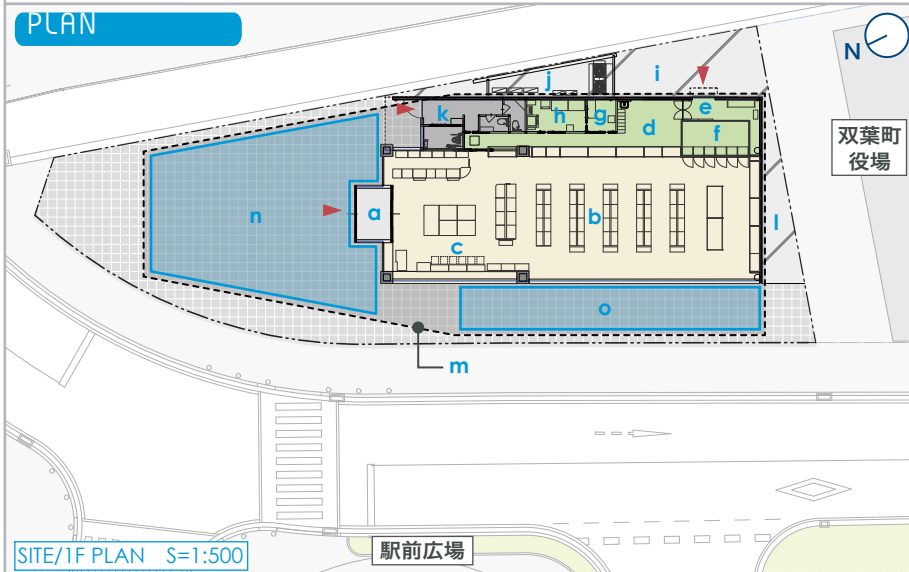


店舗売り場



イートインスペース

PLAN



SITE/1F PLAN S=1:500

駅前広場

- | | | | |
|--------------|------------|-------------|--------|
| a. 風除室 | f. 冷蔵庫 | k. 外トイレ | バックヤード |
| b. 店舗売り場 | g. 休憩室 | l. 自転車置き場 | 店舗売り場 |
| c. イートインスペース | h. 事務所 | m. 大屋根軒先ライン | 共用トイレ |
| d. バックヤード | i. 搬入ヤード | n. 駅前コアひろば | 出入口 |
| e. バックヤード風除室 | j. AC室外機置場 | o. まちのえんがわ | |

CONCEPT

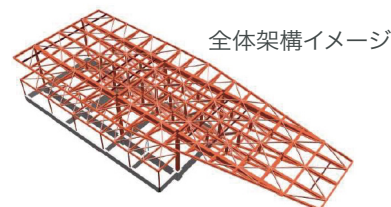
「ひろば・屋根・たまり」で滞在と賑わいを創出する駅前商業施設

本計画は、福島県双葉駅東地区において、東日本大震災後避難指示の解除を受けて同町に帰還や移住した人の生活環境改善につながる施設として、公設民営の商業施設（スーパー）整備を目的とする事業です。

本施設は、JR常磐線双葉駅前に位置しており「ひろば」「屋根」「たまり」の3つを配置計画における基本方針としています。駅前広場との一体性を重視し、人々の滞留や多様な活動を受け止める「ひろば」を最大限確保するため、店舗部分を庁舎側に寄せた配置としています。また、可能な限り大きな屋根を掛けることで「駅前コア広場」や「まちのえんがわ」として、平時・催事の双方において街づくりの核となる場を形成しています。さらに、前面道路ににぎわいを見せるガラスや、製作置き家具の配置、多目的イベントに対応する電源や水道の整備、駅前広場との関連を持たせた外構計画など、人の「たまり」を意識した場づくりに配慮しています。

TOPICS

ひろばに架かる片持ち大屋根の構造



全体架構イメージ

本施設の大屋根は、鉄骨ラーメン構造を基盤とし、中央の主架構によって支持されるトラス梁と直交梁による格子状架構で構成されています。特に北側は約15mにわたる大きな片持ち構造とすることで無柱空間を実現し、開放的な広場を形成しています。また、屋根面は軽量化を図りつつ、面内ブレースにより剛性を確保することで、ダイナミックな形態と合理的な構造性能を兼ね備えた計画としています。

DATA

敷地面積	770.34㎡
建築面積	501.82㎡
延床面積	299.89㎡
建ぺい率	65.14%（許容80%）
容積率	38.92%（許容400%）
構造・規模	鉄骨造 地上1階 杭基礎
最高高さ	6.375m
最高軒高	6.200m
天井高さ	3.435m→5.360m（店舗売り場）
	3.435m→4.572m（イートイン）
	2.450m（バックヤード）
主なスパン	9.0m×8.4m
設計期間	2023.07～2024.07
工事期間	2024.09～2025.07

▶ <http://www.nissoken.co.jp>